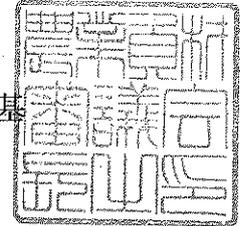


30資審第31号
平成31年2月1日

農林水産大臣 吉川 貴盛 殿

農業資材審議会長 山本 廣基



飼料の公定規格の一部改正に関する諮問について（答申）

平成31年2月1日付け30消安第5104号をもって諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申する。

記

- 1 飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律（昭和28年法律第35号）第26条第1項の規定に基づき定められた飼料の公定規格（昭和51年7月24日農林省告示第756号。以下「公定規格」という。）の備考の3の別表第3に、別紙の飼料原料名の欄に掲げる飼料原料等の可消化養分総量、代謝エネルギー等を定めることは適当と認める。
- 2 公定規格の備考の3の第2章の2の表に、飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）別表第2の8の（140）に規定するフィターゼ（その2の（4））を追加し、当該フィターゼによる分解の結果生じる非フィチン態りんの算出方法として、「飼料1kg当たり500フィチン酸分解力単位を添加した場合 0.14」を定めることは適当と認める。

暫定値に係る告示改正(案)

・加糖加熱処理大豆油かす、加糖加圧蒸煮処理大豆油かす、ひまわり油かす、油ヤシ搾油副産物、脂肪酸カルシウム及び2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンの公定規格備考の3の第3表への追加等

原料名	畜種	栄養価(原物中)			消化率				代謝率	備考
		DM (%)	TDN (%)	ME (Kcal/kg)	粗白たん質	粗脂肪	可窒素無物	粗繊維		
3. 植物性油かす類										
油ヤシ搾油副産物	鶏	95.3	—	2920	—	—	—	—	48.3	油ヤシ空果房を発生後速やかに搾油して得られた油及びパーム油搾油で発生するソリュブルを油ヤシ果実繊維に吸着させ乾燥したものであって、粗脂肪含量がおおむね40%、粗繊維含量がおおむね12%のものであること。栄養価は、暫定的に定めたものである。
	豚	—	—	—	—	—	—	—	—	
	牛	—	—	—	—	—	—	—	—	
【略】										
加糖加熱処理大豆油かす	鶏	—	—	—	—	—	—	—	—	大豆油かすに1.5～2.0%のビートシロップを加え、90～105℃で20～45分間加熱処理したものであること。栄養価は、暫定的に定めたものである。
	豚	—	—	—	—	—	—	—	—	
	牛	89.0	80.4	—	93	76	96	99	—	
加糖加圧蒸煮処理大豆油かす	鶏	—	—	—	—	—	—	—	—	大豆油かすに0.5～2.0%のぶどう糖を加え、120～140℃で5～30分間加圧缶内で蒸煮処理したものであること。栄養価は、暫定的に定めたものである。
	豚	—	—	—	—	—	—	—	—	
	牛	91.5	81.6	—	92	58	99	93	—	
【略】										
脱殻ひまわり油かす	鶏	—	—	—	—	—	—	—	—	殻を大部分除去したひまわり種子の溶媒抽出後に得られた搾油かすであること。栄養価は、暫定的に定めたものである。
	豚	—	—	—	—	—	—	—	—	
	牛	89.6	64.9	—	91	42	87	31	—	
5. その他										
脂肪酸カルシウム	鶏	96.5	—	6480	—	—	—	—	82.6	大豆油の脂肪酸となたね油の脂肪酸を4:6～7:3で混合した脂肪酸であること。栄養価は、暫定的に定めたものである。
	豚	96.5	168.6	—	—	89	—	—	—	
	牛	96.5	181.9	—	—	96	—	—	—	
脂肪酸カルシウム	鶏	97.7	—	6780	—	—	—	—	86.4	アマニ油の脂肪酸を80%以上含む脂肪酸であること。栄養価は、暫定的に定めたものである。
	豚	—	—	—	—	—	—	—	—	
	牛	97.7	190.4	—	—	100	—	—	—	
脂肪酸カルシウム	鶏	—	—	—	—	—	—	—	—	パーム油由来の製品であって、オレイン酸を60%以上含むものであること。栄養価は、暫定的に定めたものである。
	豚	—	—	—	—	—	—	—	—	
	牛	97.6	187.3	—	—	100	—	—	—	

【略】										
2-デアミノ-2-ヒド ロキシメチオニン	鶏	89.1	—	3991	—	—	100	—	79.9	飼料添加物であること。栄養 価は、暫定的に定めたもので ある。
	豚	89.1	89.1	—	—	—	100	—	—	
	牛	89.1	89.1	—	—	—	100	—	—	